



令和3年度宿南地区自治協議会総会の結果について

令和3年度宿南地区自治協議会総会を4月30日（金）に予定しておりましたが、緊急事態宣言発令により新型コロナウイルス感染拡大予防のため、書面表決方式による総会実施となりました。書面表決書は自治協議会運営委員55人中48人提出。第1号議案～第5号議案まで、賛成48、反対0、無効0、ですべての議案が可決されました。今年度の役員、事業計画は下記の通りです。なお、事業計画は、日程の決まっているもののみ記載をしております。

【宿南地区自治協議会役員】

【宿南地区自治協議会専門部会役員】

役職名	氏名	備考
会長	維田 浩之	口三谷区長
副会長	池田 道昭	寄宮区長
会計	片山 博文	川東区長
理事	林 安宏	町 区長
	高木 教行	川西区長
	吉田 尊文	門前区長
	多田 勝俊	青山区長
	太田垣 均	奥三谷区長
	西田 雄一	地域づくり部 部会長
	宇和野勝幸	体育部 部会長
	西村 朋也	文化部 部会長
	多田 勝実	福祉部 部会長
監事	高木 教行	
	林 安宏	

専門部会名	役職名	氏名
自治振興部	部会長	維田 浩之
	副部会長	池田 道昭
地域づくり部	部会長	西田 雄一
	副部会長	伊木真一郎
体育部	部会長	宇和野勝幸
	副部会長	池田 龍郎
文化部	部会長	西村 朋也
	副部会長	齋藤 綾
福祉部	部会長	多田 勝実
	副部会長	田中 美晴

【事業計画】

日程	行事
7月4日	農家日役
8月14日	盆踊り大会
9月5日	一斉避難訓練
9月19日	宿南地区総合運動会
11月21日	文化祭



事務局長に多田 勝俊（青山）が就任しました。



緊急事態宣言 5月31日まで延長

引き続き下記の新型コロナウイルス感染症予防対策を心がけましょう。

- ・不要不急の外出を控える
- ・マスク着用
- ・手洗い・手指消毒
- ・ソーシャルディスタンスを保つ
- ・大人数や長時間の飲食、食事中的の会話は控える
- ・3密の回避（密集・密接・密閉） 他



6月行事予定

- 6月 6日（日）クリーン但馬10万人大作戦
- 6月25日（金）第1回文化部会



草庵先生紹介



日記 27



岩滝寺境内にある
草庵の漢詩の石碑

濱 篤さん作

池田草庵は、天滝から帰ってから10日ほどして、今度は丹波に出かけた。草庵の母は丹波の佐治村（現在の丹波市青垣町佐治）から嫁いで来ているので、草庵にとっては親しみやすい所でもあった。それに丹波には、草庵の友人や門人たちもいた。「頭痛は治ってきて気分はよくなった。塾生2人連れて書院を出発し八鹿を経て夜に丹波佐治村の小島伯輿を訪ね、対話する。夜が更けて就寝」（嘉永元〈1848〉年4月19日）

ここに出てくる小島伯輿（省齋）は儒学者で、草庵より9歳ほど年上だが草庵の古くからの友人である。後に柏原藩の藩需となり、藩の政治の一翼を担う役にもついた。

丹波に出かけた草庵は、2日間は小島たちと過ごしていた。3日目彼らと「独鈷の滝」（現在の丹波市氷上町香良）のある山に入っている。「小島伯輿や塾生、そして佐治村や芦田村の人たち十数人で香良の山中に入る。切り立っている岩など存分に見る。（後略）」（同年4月21日）

ここには「独鈷の滝」の言葉はないが、草庵は香良の山に入れば、当然独鈷の滝も見たはずである。4年前、まだ立誠舎にいる時代、同じように香良の山中に入り、独鈷の滝を見て、その感慨を文章にまでまとめているのだ。それほどの所だから、草庵は今回も独鈷の滝を見たに違いない。4年前、独鈷の滝を見て、そのことをまとめた文章は次のようなものだ。「天保15（1844）年9月。私は友人たちと丹波の香良山に遊んだ。林を通り抜け、石の狭い径を上り、谷を渡り、空洞を見て、絶壁から落ちる滝を見た。崖に立つ松を眺め、険しい岩を踏み歩き、谷に下りてごつごつした岩の間を歩いた。（中略）体がかがめうつむいていると、哀れに猿が鳴くのが聞こえた。何ともいえない気分、この世のこととは思えなかった。この夜は山中にある岩滝寺に泊まった」（「静養館記」から）

草庵はこの時見た滝の感慨を漢詩にも書いた。その漢詩は、その夜泊まった岩滝寺（現在の丹波市氷上町香良）の境内に石碑として建てられている。次のような内容だ。

「弘化元（1844）年丹波香良山に来て作る。人生三十年俗世間の中で過ぎた。今朝初めてこのすばらしい山に入った。険しい岩は高くそびえ、蒼い松は古木。一筋の滝は岩々の間を落ちていく」

池田草庵先生に学ぶ会